



Wakate News Letter vol. 21

2010. 4. 8 発行

1. 活動報告

1) 業績 ('10年3月)

<原著論文>

Y. Sasakura, J. Yaguchi, **S. Yaguchi**, M. Yajima Excision and transposition activity of Tc1/mariner superfamily transposons in sea urchin embryos. *Zoolog Sci* 27:256-262 (2010)

S. Ooka, T. Katow, **S. Yaguchi**, J. Yaguchi, H. Katow Spatiotemporal expression pattern of an encephalopsin orthologue of the sea urchin *Hemicentrotus pulcherrimus* during early development, and its potential role in larval vertical migration. *Dev Growth Differ* 52: 195-207 (2010)

Emil Avsar, **Yoshitaka Hatta** and Toshihiro Matsuo Odderon in baryon-baryon scattering from the AdS/CFT correspondence *JHEP* 03 (2010) 037

T. Nagamitsu, H. Yamagishi, **T. Kenta**, Naoki Inari & E. Kato. Competitive effects of the exotic *Bombus terrestris* on native bumble bees in Japan revealed by a field removal experiment. *Population Ecology* 52:123-136 (2010)

<学会発表・招待講演>

恩田義彦 & 田中健太

第57回日本生態学会

演題：「標高が変わると死ぬ季節は変わるか？—標高分布の広いミヤマハタザオの場合—」

(ポスター発表) ポスター優秀賞を受賞した。

日付：2010年3月16日 (火)

会場：東京大学 (駒場)

田中健太

第57回日本生態学会

演題：「新世代遺伝手法を生態学にどう活かす？」(自身がオーガナイズしたシンポジウムにおける口頭発表)

日付：2010年3月16日 (火)

会場：東京大学 (駒場)

趙陽, **松尾 (高崎) 真美**, 長野真澄, 山下年晴, 木村健一, 坪井一輝, 大根田修

第9回日本再生医療学会総会

演題：低酸素条件におけるES細胞の神経分化 (ポスター発表)

日時：2010年3月18日 (木)

場所：広島国際会議場 (広島市)

太田賢, Jian-Kang Zhu, Paul M. Hasegawa, **三浦謙治**

第51回日本植物生理学会

演題：ICE1と相互作用するMYC67, 70, 71は低温応答の負の制御因子である (口頭発表)

日時：2010年3月18日 (木)

場所：熊本大学 (熊本市)

三浦謙治, Jiyoung Lee, 三浦友子, Paul M. Hasegawa

第51回日本植物生理学会

演題：SIZ1はサリチル酸蓄積の調節を行って細胞及び植物の成長を制御する (ポスター発表)

日時：2010年3月19日 (金)

場所：熊本大学 (熊本市)

三浦謙治

第51回日本植物生理学会

演題：翻訳後修飾SUMO化による環境ストレス応答機構 (シンポジウム口頭発表)

日時：2010年3月20日 (土)

場所：熊本大学 (熊本市)

八田佳孝

日本物理学会第65回年次大会 理論核物理領域, 実験核物理領域 若手奨励賞受賞記念講演

演題：高エネルギーQCD反応におけるダイポール散乱振幅の因子化の破れの研究 (口頭発表)

日時：2010年3月21日 (日)

場所：岡山大学 (津島キャンパス)

丹羽隆介

第54回日本応用動物昆虫学会大会

演題：「エクジソン生合成酵素群はエクジソン生合成以外の役割を担うか？」 (招待講演)

日時：2010年3月27日 (土)

場所：千葉大学・西千葉キャンパス

Sora Enya, Takuji Yoshiyama, **Shunsuke Yaguchi**, Yasunori

Sasakura, Kensuke Shiomi and **Ryusuke Niwa**

日本農芸化学会 2010年度大会

演題：「Functional analysis of the cholesterol-metabolizing steroidogenic enzyme Neverland in deuterostomes」 (口頭発表)

日時：2010年3月28日 (日)

場所：東京大学・駒場キャンパス

2) 外部資金獲得状況 ('10年3月)

三浦謙治

<公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団>

平成 22 年度助成研究

「イオンバランス是正による塩蓄積型塩耐性植物の機構解明」
(代表)
(H22.4-H23.3 90 万円)

田中健太

<学術振興会>

外国人招へい研究者短期 2009

「シロイヌナズナ属野生種の標高適応の進化:量的遺伝学アプローチ」
(H22 100 万円)

田中健太

<学術振興会>

二国間交流事業:英国との共同研究 2010-2011 年度

「環境傾度と適応遺伝子の動態:シロイヌナズナ属野外集団における自然淘汰の実態解明」
(H22-H23 交付額未定 申請額 500 万円)

田中健太

<文部科学省>

特別教育研究経費 2010-2014 年度

「地球環境再生プログラム —中部山岳地域の環境変動の解明から環境資源再生をめざす大学間連携事業—」
(H22-H26 1,325 万円 菅平高原実験センターへの配分額)

西丸広史

<ブレインサイエンス振興財団>

平成 21 年度「第 24 回研究助成」

「哺乳類脊髄神経回路網の作動機序と機能発達」
(H22.4-H23.3 100 万円)

3) 受賞 ('10 年 3 月)

2010年3月16日(火)第57回日本生態学会大会において恩田義彦研究員(田中研究室)が、ポスター賞(優秀賞)を受賞しました。

演題:「標高が変わると死ぬ季節は変わるか?—標高分布の広いミヤマハタザオの場合—」

4) 特許出願 ('10 年 3 月)

金保安則、本宮綱記、長谷川潤、船越祐司

出願: Arf6 遺伝子機能喪失動物及びその利用方法

特許出願番号: 2010-050431 (出願日: 平成 22 年 3 月 8 日)

○若手分子医学クラスシリーズ(冬季シリーズ)

▽分子・細胞医学クラス(担当:高崎真美、長谷川潤)

第11回 3/6

- Direct conversion of fibroblasts to functional neurons by defined factors (Nature)
- Reprogramming towards pluripotency require AID-dependent DNA demethylation (Nature)

第12回 3/13

- Transferrin therapy ameliorate disease in β -thalassemic mice (Nat Med)
- Rfx6 directs islet formation and insulin production in mice and humans (Nature)

- The cells and peripheral representation of sodium taste in mice (Nature)

第13回 3/20

- Hydrogen sulfide mediates the vasoactivity of garlic (Proc Natl Acad Sci USA)
- In vivo imaging of haematopoietic cells emerging from the mouse aortic endothelium (Nature)

▽がんの生物学クラス(担当:鈴木裕之)

第5回(3/4)

- Key roles for transforming growth factor beta in melanocyte stem cell maintenance.

第6回(3/18)

- Requirement of prorenin receptor and vacuolar H⁺-ATPase-mediated acidification for Wnt signaling.

▽リガンド結合の定量的解析クラス(担当:Damien Hall)

今季は全て終了しました。

2. スケジュール ('10 年 4 月)

7日(水)

平成 22 年度 筑波大学・大学院入学式 筑波大学講堂

8日(木) 11:00~12:00

振興調整費合同会議 総合研究棟 D-115

13日(火) 16:00~17:00

若手推進委員会 総合研究棟 D-311

19日(月) 15:15~

第 42 回若手イニシアティブセミナー 総合研究棟 A-110

3. 事務連絡

○人事(1)

4月1日より、若手研究者運営調整委員会委員長・副委員長・書記が下記のとおり交代となりました。

委員長: 鈴木裕之

副委員長: 丹羽隆介

書記: 高崎真美

○人事(2)

4月1日付で下記の研究員が採用されました。

谷口研究室研究員 谷口 順子

三浦研究室研究員 佐藤 愛子

Wakate News Letter vol.21 [平成 22 年 4 月号]

編集・発行: 若手研究者運営調整委員会

*当ニュース・レターは、毎月 1 回定例会後に配信いたします。

連絡先: 若手支援室

連絡先: 若手支援室 担当 根本

nemoto.yoko.fb@un.tsukuba.ac.jp